学年通信

Challenge

～迷ったらやってみよう!～



龍ヶ崎市立
城西中学校
第2学年通信
文責:
第 18 号



素晴らしい歌声が響きました



26 日に合唱祭が本校体育館で行われました。この日に向けて、なかなか練習時間を確保することができませんでしたが、放課後だけでなく、朝や昼休みなども練習に取り組む学級が増え、本番ではどの学級も素晴らしい歌声を披露することができました。

1 組「時を越えて」
　指揮:　　伴奏:　　実行委員:
2 組「生きている証」
　指揮:　　伴奏　　実行委員:
3 組「旅立ちの時～Asian Dream Song～」
　指揮:　　伴奏:　　実行委員:

「みんなで協力した合唱祭練習」

城西中学校に入学して 2 回目の合唱祭をしてみて、まず、練習する期間が去年よりも圧倒的に少なくて大変でした。今回、私はアルトパートのパートリーダーを引き受けてみました。パートリーダーの仕事は大変で、みんなをまとめたり、自分から提案を出したりと、自分が苦手なことが多くて不安でした。けれど、同じ仲間の人達が一緒に案を出してくれたり、協力してくれたりしてくれて、なんとか本番にたどりつきました。本番では1番良い成果を果たせていたと先生が言ってくれました。私もそう思いました。けれど、優秀賞ではありませんでした。それは悔しいけれど、私は満足でした。

「みんなでつかんだ優秀賞」

今年の合唱祭は体育祭の延期で練習の時間が去年より短くなり大変だった。例えば、私はあるとパートだったが、メロディーや音程を聞き覚えるのは難しく、仲間と合わせても「何かが違う」と思うことが多くあった。しかし、先生達や級友からのアドバイスなどによって、だんだんと上達し、大きな声で歌うこともできるようになった。そして、本番の日、残りの練習できる時間を有効に使い、最後まであきらめずに歌った。結果は優秀賞。私はとても嬉しく思うのと同時に、これは仲間がいなければ取れなかったものだとも感じた。来年私は3年生になる。受験勉強などで忙しくなるかもしれないが、またこの日が来た時には仲間と協力し合い、最優秀賞が取れるよう頑張りたい。

「あと1回となった合唱祭」

私は合唱練習を通して「このクラスいいな」と思いました。理由は、クラスのみんなが合唱をより良くしようと努力しているのが伝わってきたからです。特に合唱祭実行委員やパートリーダー、伴奏者、指揮者が何度も話合いをしているのを見て「本気なんだな。全力を出し切りたいんだな」と感じました。だから、私も頑張ろうと思えました。本番では、みんなの音がピタッとはまった気がしてとても楽しく歌えました。残念な結果に終わり悔しい気持ちもありますが、このクラスのみんなで歌えてよかったという気持ちの方が強いです。けれど、私はまだ“優秀賞”を経験していないので、来年こそは取りたいです!今年は歌っている方も楽しかったのですが、聞いているのもとっても楽しめました。1年生のきれいなハーモニーに驚き、2年生の去年よりも技術も団結力も上がった声、そして聞いていて虜になるほどの力強い3年生の声に感動しました。今年の3年生みたいに来年歌えるよう、頑張りたいです。